

平成27年度

勝浦町教育委員会  
点検・評価報告書

平成28年9月  
勝浦町教育委員会

〔目次〕

第1	点検・評価制度の概要	(頁)
1	経緯	1
2	目的	1
3	対象事業の考え方	2
4	学識経験者の知見の活用	2
第2	勝浦町教育委員会の概要	
1	教育委員会組織	3
2	教育委員会の会議等開催状況	3
3	その他の活動	4
第3	平成27年度点検・評価結果（27年度重点施策）	
1	点検・評価結果	
	(1) 学校教育の充実	
	① 特色ある学校教育の充実	6
	② 地域と連携の充実	7
	③ 教育環境の向上	8
	(2) 生涯学習の推進	
	① 学習・文化・スポーツ活動の活性化	9
	② 人権教育の推進	10
	③ 青少年健全育成の推進	11
2	外部評価	
	平成27年度勝浦町教育委員会活動の点検・評価に対する意見	12

## 第1 点検・評価制度の概要

### 1 経緯

平成18年12月の教育基本法改正及び平成19年3月の中央教育審議会答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(以下「地教行法」という。)が改正され、平成20年4月から施行されました。

この、地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第26条の規定に基づき、平成20年度から教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を行うことが義務付けられたことに伴い実施するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律《抜粋》

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村に設置されている行政委員会です。その役割は、行政官で構成される事務局を、様々な属性を持たない複数の委員による合議により、指揮監督し、中立的な意志決定を行うものとされています。

事務の点検・評価は、上記地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が教育長以下の事務局を含む広い意味での教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

### 3 対象事業の考え方

平成27年度事業を対象として、次の2区分とします。

なお、町教育委員会の会議の開催状況等、あるいは活動している事業を「第2勝浦町教育委員会の概要」として点検・評価結果の前に記載しました。

平成27年度勝浦町教育基本方針に沿って実施しました事務事業を（1）学校教育の充実、（2）生涯学習の推進に分類し、主に重点施策とした事業について点検・評価しました。

### 4 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条2項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会が行った点検・評価（自己評価）の結果について、選任した学識経験者から意見を聴きました。

学識経験者の選定にあたっては、町内の方を前提とし、教育や人材育成に携わっていた職見の高い方の知見の活用を考慮しました。

#### 【勝浦町教育委員会活動評価員】

##### ○ 武田 京（たけだ みやこ）氏

元 小学校教頭・勝浦町教育委員会教育委員長  
現 勝浦町民生委員・児童委員（主任児童委員）  
勝浦町大字中角字東山57番地3

##### ○ 稲井 稔（いないみのる）氏

元 高等学校教諭・高等専門学校非常勤講師・勝浦町教育委員会教育長  
現 NPO法人 阿波勝浦井戸端塾理事長  
小松島地区保護司会副会長  
勝浦町社会教育委員会委員長  
勝浦町学校支援コーディネーター  
勝浦町大字三溪字上川原40番地1

## 第2 勝浦町教育委員会の概要

### 1 教育委員会組織 平成27年度

#### ○ 委員の就任状況

(平成28年3月31日現在)

氏名	役職	異動状況
おおにし なおみ 大西 直美	教育委員長	H27.10.5 委員長再任
もりの こうじ 森野 光次	教育委員長職務代理者	H27.12.26 委員長職務代理者就任
たにくち のりよ 谷口 智代	教育委員	H26.7.25 教育委員就任
いしき もとこ 石木 素子	教育委員(保護者委員)	H27.12.26 教育委員就任
しいの かずゆき 椎野 和幸	教育長	H24.10.7 教育委員就任 H26.8.1 教育長就任

### 2 教育委員会の会議等開催状況

毎月1回教育委員会定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開催

#### (1) 平成27年度定例会の開催状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨時会				1			1					1	3
計	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	2	15

#### (2) 平成27年度の議案協議・報告状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
議案協議	5	4	5	4	2	3	2		4	3	6	3	41
報告	6	2	2	9	5	4	7	10	7	6	7	4	69
計	11	6	7	13	7	7	9	10	11	9	13	7	110

### 3 その他の活動

#### (1) 会議・研修会等

日程	名称	場所
4月3日(金)	平成27年度徳島県・市町村教育委員会教育行政連絡協議会	徳島県立総合教育センター
4月3日(金)	平成27年度徳島県市町村教育委員会連合会・徳島県市町村教育長会合同理事会	徳島県立総合教育センター
4月22日(水)	第63回徳島県市町村教育委員会連合会・徳島県市町村教育長会定期総会並びに研修大会	徳島市役所
4月22日(水)	徳島県教育委員会教育長と徳島県市町村教育長会の情報交換会	ホテルグランドパレス徳島
5月22日(金)	平成27年第1回勝浦町総合教育会議	勝浦町図書館
8月3日(月)	平成27年度四国ブロック町村教育長協議会	ホテルマリパレスさぬき
11月5日(木)	平成27年度徳島県・市町村教育委員会教育委員等研修会	徳島県立総合教育センター
11月9日(月)	平成27年度四国地区市町村教育委員会協議会	ホテル千秋閣
1月14日(木)	徳島県市町村教育長会と徳島県教育委員会研修会	ホテルグランドパレス徳島

#### (2) 行事等

日程	名称	場所
4月8日(水)	勝浦町教職員赴任式	勝浦町図書館
4月9日(木)	勝浦町立学校入学式	生比奈・横瀬小学校 勝浦中学校
5月17日(日)	勝浦中学校体育祭	勝浦中学校
6月30日(火)	勝浦町人権教育推進協議会及び研修会	勝浦町図書館
7月12日(日)	勝浦町制60周年記念式典 記念事業 吉田文司ふるさと文楽公演	勝浦町 農村環境改善センター
8月19日(火)	勝浦郡人権教育推進協議会及び研修会	勝浦町 農村環境改善センター

日 程	名 称	場 所
9月12日(土)	勝浦中学校文化祭	勝浦中学校体育館
9月19日(土)	生比奈小学校運動会	生比奈小学校運動場
9月20日(日)	横瀬小学校運動会	横瀬小学校運動場
11月3日(火)	勝浦町制60周年記念事業 勝浦町民体育大会	勝浦中学校運動場
1月 2日(土)	成人式	勝浦町 農村環境改善センター
2月25日(土)	勝浦郡教育委員会連絡協議会	上勝町月ヶ谷温泉
3月11日(金)	勝浦町立中学校卒業式	勝浦中学校
3月17日(木)	勝浦町立小学校卒業式	生比奈小学校 横瀬小学校

### (3) 学校訪問等

日 程	名 称	場 所
5月22日(金)	勝浦町教育委員会学校訪問	横瀬小学校
10月18日(日) ~19日(月)	教育委員会視察研修	福井県大飯郡 おおい町教育委員会

### 第3 平成27年度点検・評価結果（27年度重点施策）

#### 1 点検・評価結果

施策	(1) 学校教育の充実	区分	① 特色ある学校教育の充実
点検・評価対象事業	学校給食における食育の推進・健康教育の充実		
事業の目的			
<p>学校給食などを活かし、様々な経験を通じて食生活の基礎基本を学び、「食に関する知識」と「食を選択する力」を習得し、健全な食生活及び自らの健康管理をすることができる子どもの育成を目的とする。</p>			
27年度の主な事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地場産物を活用した学校給食</li> <li>・ 「食に関する指導」の実践</li> <li>・ 各小学校でのふれあい交流給食</li> <li>・ 「野菜たっぷりの日」の実践</li> <li>・ 適温給食の提供</li> <li>・ 給食だよりの配付</li> <li>・ 食育カレンダー作成及び勝浦町全戸へ配布</li> <li>・ 学校給食レシピ集作成</li> <li>・ 栄養教諭による給食を通じた食育指導（含、TTによる授業）</li> </ul>			
事業の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米100%、年間を通じ使用量の多い野菜や果物の90%は、「よってネ市」との連携による地場産物を活用</li> <li>・ 各学校と栄養教諭の連携による食育推進計画の策定、家庭科授業参加による給食指導</li> <li>・ 地域の方との交流給食、保護者試食会の実施</li> <li>・ 「野菜たっぷりの日」は、野菜豊富なメニューを活用し、月2回程度実施</li> <li>・ 保温保冷コンテナを活用</li> <li>・ 栄養教諭が「給食だよりの」を毎月作成し、児童生徒へ配付</li> <li>・ 平成28年版カレンダーを作成し、各区長を通じた勝浦町全戸への継続配布</li> <li>・ 学校給食レシピ集を作成し、平成27年度勝浦中学校卒業生へ記念配付</li> </ul>			
事業の効果など			
<p>地場産物の活用により、新鮮で安心な食材を提供でき、児童生徒が地域の農業や食文化を知ることで、食に関する興味・関心を高めることができた。</p> <p>ふれあい給食を通じ、食の楽しさ、コミュニケーション能力の育成、生産者への感謝の心が養えた。</p> <p>適温給食の提供及び「野菜たっぷりの日」の実践により、望ましい栄養や食事の採り方を理解させることができた。</p> <p>食に関する自己管理及び健康管理は、家庭の協力が欠かせない。給食だよりの配付、食育カレンダー配布により家庭・地域と連携を図ることができた。</p>			
事業の課題・改善策など			
<p>地場産物活用率の更なる向上に向け、引き続き「よってネ市」との連携を図り、地場産物を取り入れた献立を提供することにより「生きた教材」として、学校給食及び食育教育に活用する。</p> <p>家庭・地域との連携を深める取り組みの工夫が必要。</p>			



施策	(1) 学校教育の充実	区分	② 地域と連携の充実
点検・評価対象事業	家庭・学校・地域の連携・協力		
事業の目的			
<p>「勝浦町学校支援地域本部」において、地域住民より学校支援ボランティアを募り学校教育活動のサポートを行うことにより、学校の教員が子ども達と向き合う時間の確保と学校教育の一層の多様化及び活性化を図る。また、同時に学校と地域の連携を強化することを目的とする。</p>			
27年度の主な事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域コーディネーターの任命</li> <li>・ 学校支援ボランティアの募集</li> <li>・ 学校支援ボランティア活動の実施</li> <li>・ ボランティア活動の広報など</li> <li>・ 勝浦町地域ぐるみの学校支援協議会の開催</li> </ul>			
事業の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3名のコーディネーターを任命（1校につき、1名配置）</li> <li>・ チラシ、かつうら広報掲載によりボランティアの募集活動 ※ 約90名の登録あり</li> <li>・ コーディネーターと学校で連絡調整を行い、コーディネーターがボランティアへ呼びかけ活動実施 (事例) 生比奈小学校 登下校指導・読み聞かせ・校外学習付添・庭木剪定 横瀬小学校 下校指導・読み聞かせ・米作り体験指導・総合学習の外部講師 学校図書の整理・手話教室・お手玉教室 勝浦中学校 勝浦音頭指導・しめ縄体験学習・植木剪定・人形浄瑠璃指導部活動指導補助</li> <li>・ ボランティア活動の状況を「かつうら広報」へ掲載</li> <li>・ 年2回の『勝浦町地域ぐるみの学校支援協議会』を開催 ①本年度の運営方針等 ②本年度の事業報告・活動報告</li> </ul>			
事業の効果など			
<p>学校支援地域本部事業の活動による学校・地域コーディネーター・ボランティアとの連絡調整も定着してきており、新たな支援の依頼もあり効果が図れた。 また、学校や教員との連携強化も図れた。</p>			
事業の課題・改善策など			
<p>教職員の異動等により、軌道に乗っている連携体制が途切れてしまわないよう、年度当初にコーディネーターと学校支援地域本部とが学校訪問を実施し、事業についての詳しい説明を行う。 若い世代や保護者等のボランティア登録者が少ない。広報等を活用し、幅広い世代の登録者の確保に努めたい。 登録ボランティアの方の幅広い活躍や活動機会の提供に向け、コーディネーターと事務局との連携も強化していく。</p>			

施策	(1) 学校教育の充実	区分	③ 教育環境の向上										
点検・評価対象事業	土曜授業の開始												
事業の目的													
<p>学習指導要領の改定により学校で学ぶ内容が大幅に増加し、平日の授業時間が過密化している。また、社会のグローバル化に対応できる人材育成ニーズの高まりへの対応に取り組む必要がある。</p> <p>これらの課題解決に向け、さらには子ども達の学力向上と豊かで有意義な土曜日を実現するため土曜授業を開始した。</p>													
27年度の主な事業の概要													
<ul style="list-style-type: none"> <li>平日に実施していた学校行事などを土曜授業日に実施することで、平日の授業時間を確保し、学力向上につなげていく。</li> <li>初年度であり、子ども達の登校状況が完全予測できなかったことから、進む授業をひかえ、復習の時間や総合的な学習の時間に充てることとして開始した。</li> <li>出席率が安定したことから、二学期からは進む授業も取り入れた。</li> </ul>													
事業の実施状況													
<ul style="list-style-type: none"> <li>各月の第一土曜日に実施（年間5回）</li> </ul> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>6月6日</td> <td>クリーン作戦やゴミについての授業を実施</td> </tr> <tr> <td>7月4日</td> <td>小学校は、七夕集会や人権集会を実施 中学校は、期末テスト</td> </tr> <tr> <td>9月5日</td> <td>運動会練習や文化祭準備など</td> </tr> <tr> <td>10月3日</td> <td>授業や読書、学活を実施</td> </tr> <tr> <td>2月6日</td> <td>小学校は、学習発表会・感謝集会を実施 中学校は、授業</td> </tr> </table>				6月6日	クリーン作戦やゴミについての授業を実施	7月4日	小学校は、七夕集会や人権集会を実施 中学校は、期末テスト	9月5日	運動会練習や文化祭準備など	10月3日	授業や読書、学活を実施	2月6日	小学校は、学習発表会・感謝集会を実施 中学校は、授業
6月6日	クリーン作戦やゴミについての授業を実施												
7月4日	小学校は、七夕集会や人権集会を実施 中学校は、期末テスト												
9月5日	運動会練習や文化祭準備など												
10月3日	授業や読書、学活を実施												
2月6日	小学校は、学習発表会・感謝集会を実施 中学校は、授業												
事業の効果など													
<p>土曜日に学校行事や復習などを実施したことにより、平日の授業時間を有効に使用できた。</p> <p>学校・各種団体の協力のもと、連絡調整や協議によりスムーズに土曜授業が実施できた。</p>													
事業の課題・改善策など													
<p>引き続き学校・各種団体との連携を図り、子ども達の学力向上と豊かで有意義な土曜授業を実施できるよう努める。</p>													

施策	(2) 生涯学習の推進	区分	① 学習・文化・スポーツ活動の活性化
点検・評価対象事業	学校教育と社会教育の連携 郷土芸能・文化の継承 地域コミュニティーの強化 総合型地域スポーツクラブの運営支援		
事業の目的			
<p>様々な地域活動の活性化に向けて、郷土を学ぶ機会づくりや多彩な学習機会の提供に取り組み、新たな教養と知識を身につけることで生きがいのある心豊かな生活が送れるようにする。また、幅広い世代が文化・スポーツ・学習活動に楽しく参加できるようにする。</p>			
27年度の主な事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援地域本部事業の推進</li> <li>・ふるさと学習の推進</li> <li>・伝統芸能保護事業の実施</li> <li>・町制60周年記念事業 吉田文司ふるさと文楽公演 勝浦町民体育大会</li> </ul>			
事業の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「勝浦座」座員講師による、外部講師活動</li> <li>・勝浦音頭指導・しめ縄体験学習・米作り体験・お手玉教室 など</li> <li>・ふれあいの里さかもとを利用した宿泊学習（勝浦中学校1年）</li> <li>・人形浄瑠璃の後継者育成に向けた、『こども阿波人形芝居教室』</li> <li>・各学校の児童生徒及び保護者による、勝浦町民体育大会への競技参加・ボランティア活動参加</li> </ul>			
事業の効果など			
<p>学校行事で学校支援ボランティアや「ふれあいの里さかもと」など地元団体を活用することで、児童生徒及び教職員が郷土文化にふれる貴重な機会が提供ができ、知ってもらうことができた。</p> <p>また、『こども阿波人形芝居教室』では、気楽に参加し、人形に触れ、実際に操作する楽しさを学んでもらう環境づくりができた。</p> <p>9年ぶりの勝浦町民体育大会は、広い世代が楽しく参加できる行事となった。</p>			
事業の課題・改善策など			
<p>学校行事での郷土文化にふれる活動は、継続事業として取り組む。</p> <p>人口減少や少子高齢化による活動低下とならないよう、『こども阿波人形芝居教室』の活動により、人形浄瑠璃の保存と継承に努める。</p> <p>幅広い世代が楽しく参加できるようなイベントの開催による環境づくりに努める。</p> <p>総合型地域スポーツクラブ・K-Friendsとも連携し、地域コミュニティーの環境づくりにも努める。</p>			

施策	(2) 生涯学習の推進	区分	② 人権教育の推進
点検・評価対象事業	人権教育推進協議会の活性化		
事業の目的			
<p>あらゆる差別の解消に向けて、勝浦町と勝浦郡の人権教育推進協議会の運営に取り組む。</p> <p>また、町民に人権学習の機会を提供するなどして人権教育・啓発に取り組み、人権問題に対する理解を深める。</p>			
27年度の主な事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勝浦町人権教育推進協議会総会</li> <li>・ 勝浦郡人権教育推進協議会総会</li> <li>・ 勝浦町人権講演会と社会総合大学の同時開催</li> <li>・ 人権を考える勝浦郡民のつどい</li> <li>・ 勝浦郡転入教職員人権問題研修会</li> </ul>			
事業の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月30日(火) 勝浦町人権教育推進協議会総会 57名 研修会：「たった一本の幸せ」 講 師：藍工房&amp;腹話術 近藤美佐子・近藤公人</li> <li>・ 7月31日(金) 勝浦郡転入教職員人権問題研修会 31名</li> <li>・ 8月19日(水) 勝浦郡人権教育推進協議会総会 52名 研修会：安心して支え合える仲間づくりのために ～あなたの人生の質を決める対人関係とは～ 講 師：梅花女子大学 心理こども学部 心理学科教授 太田仁</li> <li>・ 11月28日(土) 人権を考える勝浦郡民のつどい 127名 映 画：「くちびるに歌を」 主演：新垣結衣</li> <li>・ 1月30日(土) 勝浦町人権講演会・2016 社会総合大学 79名 講演会：「女も男も自分らしく生きるために」 講 師：精神科医・立教大学現代心理学部教授 香山リカ</li> <li>・ 2月11日(木) 勝浦町人権ふれあいカローリング大会 24チーム参加： 72名</li> </ul>			
事業の効果など			
<p>講演に映画を取り入れたことで、若い世代にも参加してもらえた。</p> <p>また、著名な方に講演依頼することで、幅広い世代で親しみやすく、気軽に参加できる人権学習の場を提供でき、人権問題に対する理解を深めることができた。</p>			
事業の課題・改善策など			
<p>より幅広い多くの町民が参加できるよう、実施時期や内容等について工夫する。</p> <p>また、人権教育の推進、人権啓発のため、どのような方法が効果的か検討していかなければならない。</p>			

施策	(2) 生涯学習の推進	区分	③ 青少年健全育成の推進
点検・評価対象事業	補導パトロールの実施 青少年健全育成センターと専門補導員との連携		
事業の目的			
勝浦町青少年補導協力委員と青少年健全育成センター専門補導員を中心に補導パトロールを実施し、子ども達の安全と青少年健全育成に取り組む。			
27年度の主な事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝浦町青少年補導協力委員研修会</li> <li>・補導パトロール</li> <li>・専門補導員によるパトロール</li> </ul>			
事業の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月30日(木) 勝浦町青少年補導協力委員研修会 研修会：少年非行の現状について 講 師：小松島警察署生活安全課係長 林亜周香</li> <li>・ 8月16日(日) 横瀬地区夏祭り補導パトロール 各地区を車でパトロール後、JA勝浦支所周辺を巡回</li> <li>・ 10月 秋祭り補導パトロール 3日(土) 黒岩 3日(土) 星谷・生名・棚野・久国 10日(土) 中山 10日(土) 横瀬</li> <li>・ 専門補導員パトロール 勝浦町・・・月(AM, PM), 火(AM, PM), 木, 金 上勝町・・・木(PM: 徒歩下校)+1回</li> </ul>			
事業の効果など			
町内のイベント時の巡回活動実施により、子ども達の安全確保を図れた。巡回及び声かけをすることで、青少年への啓発ができた。			
事業の課題・改善策など			
補導パトロール活動は、継続事業として取り組む。 人口減少や核家族化などにより、地域での見守りだけでは目が届かない。 イベント開催時などは、更に青少年健全育成センターと連携し、地域安全確保にも努め、情報交換等に努める。			

## 2 外部評価

### 平成27年度勝浦町教育委員会活動の点検・評価に対する意見

はじめに

平成18年「教育基本法」が改正されました。また、平成27年4月「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、新「教育長」の設置、「総合教育会議」の設置や「教育大綱」の策定により地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化が求められています。さらには、あらゆる分野で急速に進展するグローバル化や激変する現代社会において、教育行政全般にわたり将来を見据えた計画と対応が必須条件です。

平成23年に取り組みを開始した勝浦町総合計画も、その中間期を迎えました。後半期の5か年はその集大成の時期です。勝浦町教育基本方針に基づく重点施策①学校教育の充実、②生涯教育の推進の事業内容を精選し、その目標達成に向け取り組んでほしいと思います。

点検・評価結果全般について

点検と評価は、学校教育分野と生涯教育分野の二分野に大別されています。教育基本方針には「一人ひとりを大切に作る教育の充実、教育環境の充実、伝統文化の継承」と記述されています。

現代社会、超高齢化社会と少子化が猛スピードでせまってきています。子ども達には、確かな学力はもとより、強い体力、故郷を愛する寛容な心を育ててほしいと思います。

生涯学習面では、文化やスポーツを通して、各種団体との交流や世代間の交流等、積極的な推進をしてほしいと思います。

以下、個別の点検・評価対象事業について

### 1. 学校教育の充実

#### ①特色ある学校教育の充実

[学校給食における食育の推進・健康教育の充実について]

食育基本法が制定され、毎月19日が食育の日となっています。

知育・徳育・体育は学校教育には不可欠なものです。

以前にはよく「早寝、早起き、朝ごはん」ということが言われていました。成長期の児童生徒には、食事に関する知識は大変重要です。

事業については、給食の食材を勝浦町内から活用し、地産地消(米100%、野菜90%等)の取り組みは、町内の生産者の農業への活力を生み出し、勝

浦町の活性化にもつながり、意義あるものと思います。

各小学校での地域住民の方々とのふれあい給食も生産者と子ども達との交流を通して学校給食の理解を深め、連携を密にしてほしいと思います。

## ②地域と連携の充実

[家庭・学校・地域の連携・協力について]

平成23年度より「勝浦町地域ぐるみの学校支援協議会」での見守り隊は、学校教育活動をサポートし、子ども達を全町民が見守るということで、素晴らしい取り組みです。安全・安心なまちづくりに重要なものです。今後も続けてほしいと思います。

学校支援協議会では、ボランティアの会員が約90名もあり、地域の教育力を高めています。庭木剪定、読み聞かせ、しめ縄作り、みかん学習、米作り等、地域の方々の教育力を発揮できる場所であり意義のある活動です。

人形浄瑠璃、しめ縄作り、勝浦音頭など伝統文化を継承することは重要です。

これらの体験や学習により、郷土に誇りを持つ心が生まれてきます。地域住民の教育力を活用してさらに進めてほしいと思います。

## ③教育環境の向上

[土曜授業の開始について]

ゆとり教育が見直され、各教科内容が大幅に増加したため、週5日制での正規授業数では容易に教科全般が消化できないのではないだろうか。正規授業時間を確実に実施することは学力向上の基礎であります。そのため、土曜授業は必要であると思います。年間5回の実施状況ですが、学習内容の充実、内容の精選が必要だと思えます。初年度であり、問題や課題も多くあったと思いますが、子ども目線や家庭の立場にたった有意義な土曜授業を展開してほしいと思います。

## 2. 生涯学習の推進

### ①学習・文化・スポーツ活動の活性化

[学校教育と社会教育の連携、郷土芸能・文化の継承、地域コミュニティの強化、総合型地域スポーツクラブの運営支援について]

学校教育と家庭、地域の連携はきわめて大切なものです。

先に述べた「地域ぐるみの学校支援事業」では、学校支援地域本部事業やふるさと学習は社会教育で学んだことを学校教育に還元していく意味があり、このような社会教育と学校教育の連携をさらに深めてもらいたいと思います。特に勝浦町は人形の町（人形浄瑠璃、ビッグひな祭りなど）です。こども阿波人形芝居教室などで勝浦の伝統文化の後継者の育成に向けた活動をさらに

続けてほしいと思います。町制60周年記念事業の勝浦出身の「吉田文司ふるさと公演」も意義深いものでした。また、9年ぶりに復活した町民体育大会は、多くの町民が参加でき、有意義なコミュニティーの場となりました。今後、K-フレンズと綿密な連携を図り、更に多くの町民が参加でき、親しみやすい活動として継続してほしいと思います。

事業の効果では、町内の各種団体を活用し、児童生徒及び教職員が勝浦町のすばらしい面を吸収することができたのではないかと思います。特に町外から勤務されている教職員の方々には、よい機会であったと思います。

## ②人権教育の推進

[人権教育推進協議会の活性化について]

あらゆる差別をなくすため、勝浦町では1973年勝浦町同和教育推進協議会を発足し、1994年勝浦町差別をなくし人権を擁護する条例を設立、勝浦町人権啓発推進協議会と改称し、2008年勝浦町人権教育推進協議会として運営し、活動を積極的に進めています。2003年度まではふれあい学習を実施していました。実施状況では、研修会、講演会、映画上映等です。人権映画「くちびるに歌を」では多くの町民の参加があり、特に若い世代の方々の参加も意義深く、人権問題に対する理解を深めることができ有意義であったと思います。

人権教育の推進と人権啓発は、全ての人々があらゆる差別をなくすために取り組まなければならないものです。今後もこのような講演会や研修会を定期的の実施してほしいと思います。

## ③青少年健全育成の推進

[補導パトロールの実施、青少年健全育成センターと専門補導員との連携について]

小松島市に事務所を置く青少年健全育成センターの専門補導員が自動車による町内パトロールを週4回行っています。

危険箇所の巡視、夜間巡視、イベント時のパトロールをすることで、子ども達の安全確保が充分図られたと思います。

勝浦町青少年補導協力委員と補導センターが詳細な連携をとり、地域の安全確保に努めてほしいと思います。

## 3. まとめと次年度の課題

まとめとして、学校教育の充実と生涯学習の推進の二分野に対する意見や要望を述べましたが、どの分野も多くの事業を実施し、その効果は充分にあったと思います。さらに事業内容を精選し、その目標達成に向け取り組んでほしいと思います。



なお、次年度における課題として次の3点にも注力を頂きたい。

- ①全国学力・学習状況調査，徳島県学力ステップアップテストの活用
- ②人権教育の推進
- ③地域ぐるみの学校支援活動の推進と学校の連携

勝浦町教育委員会活動評価員 武 田 京  
稲 井 稔